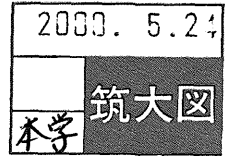


筑波社会科学研究

第14号



【研究論文】

- 授業方法の効果測定に関する方法論的検討 上 笹 恒 (1)
- 茨城県新治村における養豚業の変容 山口 泰宏 (11)
- ファシズム理解を深めるシミュレーション教材の開発
 ——高等学校世界史における「アイヒマン実験」の導入—— ... 中切 正人 (23)
- フィリピンの価値育成のための教育
 ——中等教育における「価値教育」を事例として—— 平久江祐司 (35)

【研究会報告】

- 第13回研究大会報告 (46)
- 6月例会
- 10月例会

【図書紹介】

- 篠原昭雄先生退官記念会編
 『現代社会科教育論——21世紀を展望して』—— 高山 次嘉 (54)

【学会彙報】

- 1994年度学会活動報告 (56)
- 教育研究科1993年度修了生 修士論文一覧 (57)

筑波大学社会科教育学会

1995

筑波大学社会科教育学会会則

- 第 1 条 (名 称) 本会は筑波大学社会科教育学会と称する。
- 第 2 条 (目 的) 本会は社会科教育に関する研究を行い、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。
- 第 3 条 (活 動) 本会は前条の目的を達成するために、次の活動を行う。
1. 研究会の開催 3. 資料の収集・交換
2. 機関誌の発行 4. その他必要と認められるもの
- 第 4 条 (会 員) 本会の会員は、筑波大学の出身者および本会の趣旨に賛同する者で、所定の会費を納入した者とする。
2. 本会に賛助会員をおくことができる。賛助会員は、会の趣旨に賛同し、賛助会費を収める者とする。
- 第 5 条 (本 部) 本会の本部は、筑波大学教育学系社会科教育学研究室におく。
- 第 6 条 (役 員) 本会は次の役員をおく。
会 長 1名 副会長 1名 評議員 若干名
幹 事 若干名 会計監査 2名
2. 評議員および会計監査は総会において選出する。
3. 会長および副会長は評議員会で選出する。
4. 幹事は総会の承認を得て、会長が委嘱する。
5. 役員の任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。
- 第 7 条 (役員の仕事) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3. 評議員は評議員会を構成し、重要な会務を運営する。
4. 幹事は幹事会を構成し、会長をたすけて会務を運営する。
5. 会計監査は、本会の会計を監査する。
- 第 8 条 (顧 問) 本会には顧問をおくことができる。顧問は総会の承認を得て会長が委嘱する。
- 第 9 条 (会 議) 本会の会議は、総会、評議員会および幹事会とする。
2. 総会は毎年1回会長が招集し、会員の過半数の出席によって成立する。ただし、会員は委任状をもって議決権を他の会員に委任することができる。
3. 必要ある場合、会長は臨時総会を招集することができる。
4. 総会の議決決定は、出席会員の過半数をもって行う。
5. 評議員会は、会長、副会長、評議員をもって構成し、会長の招集によって重要な会務を審議する。
6. 幹事会は会長が招集する。
- 第 10 条 (会 計) 本会の経費は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。
2. 本会の会費は総会で定める。
3. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。
- 第 11 条 (会則の改正) 会則の改正は、総会の議を経なければならない。
付 則 この会則は昭和57年2月11日から施行する。

1994・95（平成6・7）年度役員

- 会 長 上笹 恒（筑波大学哲学・思想学系）
- 副 会 長 谷川彰英（筑波大学教育学系）
- 評 議 員 朝倉隆太郎（豊田短期大学），飯島睦子（東京・今川中），石井透雄（茨城・鉾田農業高），石川裕之（長野・飯田高），岩崎宏之（筑波大学歴史・人類学系），大森 正（東洋大学），梶 哲夫（早稲田大学），金子 巧（広島・舟入高），木村勝彦（上田女子短期大学），木村健一郎（創価大学），後藤忠司（兵庫・須磨反ヶ丘高），斎藤宏夫（栃木・上三川高），篠原昭雄（つくば国際大学），高山次嘉（新潟大学），竹下裕隆（愛知・豊田高），田村和浩（茨城・土浦第一高），溜池善裕（秋田大学）
- 会計監査 高野尚好（筑波大学学校教育部），三野輪敦（茨城・茗溪学園中・高）
- 幹 事 伊藤純郎（筑波大学歴史・人類学系），井門正美（筑波大学大学院），内田邦彦（東京・穎明館中・高），江口勇治（筑波大学教育学系），唐木清志（筑波大学大学院），川崎誠司（筑波大学大学院），木村健一郎（創価大学），桐谷正信（筑波大学大学院），小森正明（宮内庁），竹中大剛（厚生省），田中通彦（筑波大学歴史・人類学系），谷川彰英，田村真広（筑波大学教育学系），塚原直人（東京・秋川高），永野広務（神奈川・西浜高），菱山謙二（筑波大学社会科学系），藤井千春（茨城大学），保坂秀夫（埼玉純真女子短期大学），真柴晶彦（東京・南高）
- 松本 敏（宇都宮大学），谷田部玲生（お茶の水女子大学附属高），山本栄一（神奈川・厚木商業高），李 明熙（筑波大学大学院）

『筑波社会科研究』編集委員

井門正美，江口勇治，唐木清志，川崎誠司，桐谷正信，谷川彰英，李 明熙

〈編集規定〉

- (1) 本誌は筑波大学社会科学教育学会の機関誌であり、年一回発行する。
- (2) 本誌は本学会会員の研究論文、研究ノート、書評、研究会報告、学会彙報、その他会員の研究活動に関する記事を掲載する。
- (3) 本誌に論文その他を掲載しようとする会員は、所定の執筆要領に従い「編集委員会」宛に送付する。
- (4) 原稿の掲載は編集委員会の審議を経て決定する。
- (5) 掲載予定の原稿について、編集委員会は執筆者との協議を通じ、内容に変更を求めることがある。
- (6) 本誌に掲載された論文その他は原則として返還しない。
- (7) 執筆者による校正は第一校までとし、再校以降は原則として編集委員会の責任において行う。

〈執筆要領〉

- (1) 論文原稿は未発表のものに限る。(ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。)
- (2) 編集委員会が特に枚数を指定する以外の原稿は、図・表などを含めて、原則として研究論文が400字詰原稿用紙30枚以内、研究ノートが15枚以内、実践報告が20枚以内、書評が5枚以内とする。
- (3) 原稿は、400字詰横書きとする。ワープロ原稿の場合、43字×31行または40字×30行横書きとする。ワープロ原稿は、フロッピーディスクを付するものとする。
- (4) 原稿には、必ず英文タイトルを添付する。
- (5) 原稿には、氏名(フリガナ)、所属(職名その他を含む)、連絡先を付記し、筑波大学社会科学教育学会「筑波社会科研究」編集委員会宛に送付するものとする。
- (6) 図版等で特定の費用を要する場合、執筆者に負担させることがある。
- (7) 原稿切は毎年9月30日、発行は翌年2月11日とする。

筑波社会科研究 第14号

1995年2月11日 印刷・発行

編 集 「筑波社会科研究」編集委員会

代表者 谷川 彰 英

発 行 筑波大学社会科学教育学会

会 長 上 笹 恒

事務局 茨城県つくば天王台1-1-1 (〒305)

筑波大学教育学系 社会科学教育学研究室

TEL 0298-53-6729~31

振替 宇都宮 5 - 7 4 4 2

印 刷 (有) 甲 文 堂

東京都文京区大塚1-4-7 (〒112)

TEL 03-3947-0844/FAX 03-3947-0858

**TSUKUBA ANNALS
FOR
SOCIAL STUDIES EDUCATION
No.14 1995**

CONTENTS

Articles

- A Design of Experimental Studies for Measurement and Evaluation
of the Different Teaching Methods
..... Hisasi KAMISASA···(1)
- The transformation of hog raising in Niiharimura
..... Yasuhiro YAMAGUCHI···(11)
- A Computer Simulation Material to Deepen Understanding about Fascism
:Adoption of “EICHMANN EXPERIMENT” into History Education
..... Masato NAKAGIRI···(23)
- A Study of Education for Developing Filipino Values
——The Case of “Values Education” for Secondary Schools——
.....Yuji HIRAKUE···(35)

Research Conferences

-(46)

Book Review

- “Contemporary Social Studies Education : In Prospect of 21st Century”
.....Tsugiyoshi TAKAYAMA···(54)

Academic News

- Academic Activities of the Association for the Social Studies Education
in 1995 (56)
- Titles of Master Theses Submitted by Graduate Students of the Social
Studies Course, Master’s Program of Education in 1994 (57)

**THE ASSOCIATION FOR SOCIAL STUDIES EDUCATION
THE UNIVERSITY OF TSUKUBA**